

安全データシート

SDS No.1021-59002

作成日 2001年12月12日

改訂日 2020年 1月15日 1/1頁

1 化学品及び会社情報

化学品の名称	: 偶数遊離脂肪酸キット
提供者名	: ジーエルサイエンス株式会社
住所	: 東京都新宿区西新宿6-22-1 新宿スクエアタワー30F
電話番号	: 03-5323-6611
FAX番号	: 03-5323-6622
製品コード	: 1021-59002
緊急連絡先	: ジーエルサイエンス(株)福島工場 品質保証課 電話 024-533-2244(代表)
整理番号(SDS No.)	: 1021-59002
推奨用途	: 標準物質(日本産業規格(JIS)Q0030に定めるもの)
使用上の制限	: 試験・研究用

本製品は以下の製品を含むキット品となっています。
内容物の有害性情報等は各製品のSDSを参照してください。

- 1) SDS No.1021-43040 Butyric acid
- 2) SDS No.1021-43060 Caproic acid
- 3) SDS No.1021-43080 Caprylic acid
- 4) SDS No.1021-43100 Capric acid
- 5) SDS No.1021-43120 Lauric acid
- 6) SDS No.1021-43140 Myristic acid
- 7) SDS No.1021-43160 Palmitic acid
- 8) SDS No.1021-43180 Stearic acid
- 9) SDS No.1021-43200 Arachidic acid
- 10) SDS No.1021-43220 Behenic acid

安全データシート

作成日 1994年 4月11日

改訂日 2020年 1月15日 1/5頁

SDS No.1021-43040

1 化学品及び会社情報

化学品の名称 : Butanoic Acid
提供者名 : ジーエルサイエンス株式会社
住所 : 東京都新宿区西新宿6-22-1 新宿スクエアタワー30F
電話番号 : 03-5323-6611
FAX番号 : 03-5323-6622
製品コード : 1021-43040
緊急連絡先 : ジーエルサイエンス(株)福島工場 品質保証課 電話 024-533-2244(代表)
整理番号(SDS No.) : 1021-43040
推奨用途 : 標準物質(日本産業規格(JIS)Q0030に定めるもの)
使用上の制限 : 試験・研究用

2 危険有害性の要約

GHS分類 : 引火性液体 : 区分4
急性毒性(経皮) : 区分3
皮膚腐食性及び皮膚刺激性 : 区分1
眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性 : 区分1
特定標的臓器毒性(単回ばく露) : 区分2(肺)
水生環境有害性(急性) : 区分3

GHSラベル要素 :



注意喚起語 : 危険
危険有害性情報 : 可燃性液体
皮膚に接触すると有毒
重篤な皮膚の薬傷及び眼の損傷
重篤な眼の損傷
臓器の障害のおそれ(肺)
水生生物に有害

注意書き

[安全対策] : 熱/火花/裸火/高温のもののような着火源から遠ざけること。ー禁煙。
保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。
保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を使用すること。
ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。
取扱後はよく手を洗うこと。
この製品を使用するときに、飲食または喫煙をしないこと。
環境への放出を避けること。

[応急措置] : 火災の場合:消火するために適した消火剤を使用すること。
皮膚に付着した場合:直ちに汚染された衣類を全て脱ぐこと。多量の水と石鹼で洗うこと。直ちに医師に連絡すること。特別な処置が必要である。
汚染された衣類を直ちに全て脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。
飲み込んだ場合:口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。
吸入した場合:空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。直ちに医師に連絡すること。特別な処置が必要である。
眼に入った場合:水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
ばく露またはばく露の懸念がある場合:医師に連絡すること。

[保管] : 換気の良い場所で保管すること。涼しいところに置くこと。
施錠して保管すること。

[廃棄] : 内容物や容器を廃棄する場合は、都道府県知事の許可を得た専門の廃棄物処理業者に委託すること。

上記で記載がない危険有害性は分類できない、分類対象外または区分に該当しない。

3 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区分 : 化学物質
 化学名(又は一般名) : 酪酸
 別名 : Butyric acid、ブタン酸
 濃度 : >99%
 化学式 : CH₃(CH₂)₂COOH
 官報公示整理番号 : 2-608
 CAS RN : 107-92-6
 危険有害成分 : 酪酸

4 応急措置

吸入した場合 : 新鮮な空気のある場所に移動し、安静保温に努める。直ちに医師に連絡すること。
 皮膚に付着した場合 : 直ちに汚染された衣類を全て脱ぐこと。石鹼と大量の水で洗い流す。直ちに医師に連絡すること。
 目に入った場合 : 直ちに、コンタクトレンズを外し、少なくとも15分以上大量の水で眼を洗う。直ちに医師の手当を受ける。
 飲み込んだ場合 : 口をすすぎ、大量の水で薄めて、直ちに医師の手当てを受ける。
 暴露した場合 : 医師に連絡すること。汚染された衣類は再使用する場合には洗濯すること。
 急性症状及び遅発性症状の最も重要な兆候症状 : 吸入による咽頭痛、咳、灼熱感、息切れ、息苦しさ、皮膚や眼の痛み、発赤、水疱や熱傷、視力喪失、誤飲による灼熱感、腹痛、ショック又は虚脱が見られる。眼、皮膚、気道に対して腐食性を示す。
 応急措置をする者の保護 : 不浸透性保護手袋

5 火災時の措置

消火剤 : 泡消火剤、粉末消火剤、炭酸ガス、乾燥砂等
 使ってはならない消火剤 : 棒状水
 火災時の特有危険有害性 : 熱、火花及び火炎で発火する恐れがある。
 激しく加熱すると燃焼する。
 火災時に刺激性もしくは有害なヒューム(またはガス)が発生するため、消火の際には煙を吸い込まないように適切な保護具を着用する。
 72℃以上では、蒸気/空気の爆発性混合気体を生じることがある。
 特有の消火方法 : 移動可能な容器は速やかに安全な場所に移す。移動不可能な場合には周辺を水噴霧で冷却する。作業は風上から行い、必ず保護具を着用する。
 消火を行う者の保護 : 燃焼又は高温により有害なガスが発生するので、呼吸保護具を着用する。

6 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置 : 屋内の場合、処理が終わるまで十分に換気を行う。漏出した場所の周辺に、ロープを張るなどして関係者以外の立ち入りを禁止する。作業の際には適切な保護具を着用し、飛沫等が皮膚に付着したり、ガスを吸入しないようにする。風上から作業して、風下の人を退避させる。
 環境に対する注意事項 : 漏出した製品が河川等に排出され、環境への影響を起こさないように注意する。汚染された排水が適切に処理されずに環境へ排出しないように注意する。
 回収・中和 : 適切な保護具をつけて処理すること。土砂・吸着剤などに吸着させて回収する。

7 取扱い及び保管上の注意

取扱い
 技術的対策 : 屋内作業場における取扱い場所では、局所排気装置を使用する。
 安全取扱注意事項 : 容器を転倒させ落下させ衝撃を与え又は引きずる等の粗暴な扱いをしない。
 漏れ、溢れ、飛散などしないようにし、みだりにミスト、蒸気、スプレーを発生させない。

衛生対策 : 使用後は容器を密閉する。
 ミスト、蒸気、スプレーを吸入しないこと。眼や皮膚と接触しないこと。
 : 取扱い後は手、顔等をよく洗い、うがいをする。
 指定された場所以外では飲食、喫煙をしてはならない。
 休憩場所では手袋その他汚染した保護具を持ち込んではいない。
 取扱場所には関係者以外の立ち入りを禁止する。

保管

適切な保管条件 : 容器は直射日光を避け、換気の良い冷所に密閉して保管する。
 技術的対策 : 施錠して保管すること。
 混触危険物質 : 酸化剤
 安全な容器包装材料 : ガラス

8 ばく露防止措置

設備対策 : 屋内作業場での使用の場合は発生源の密閉化、局所排気装置を設置する。
 取り扱い場所の近くに安全シャワー、手洗い・洗眼設備を設け、その位置を明瞭に表示する。
 管理濃度 作業環境評価基準 : 設定されていない
 許容濃度
 日本産業衛生学会 : 設定されていない
 ACGIH TLV-TWA : 設定されていない
 OSHA PEL : 設定されていない
 保護具
 呼吸器の保護具 : 保護マスク
 手の保護具 : 不浸透性保護手袋
 目の保護具 : 保護眼鏡
 皮膚及び身体の保護具 : 保護衣・保護長靴
 適切な衛生対策 : マスク等の吸着剤の交換は定期又は使用の都度行う。

9 物理的及び化学的性質

形状 : 液体
 色 : 無色透明
 臭い : 刺激臭
 pH : データなし
 融点 : -8°C
 沸点 : 163°C
 引火点 : 76°C
 爆発範囲 : 下限:2.0%、上限:10.0%
 蒸気圧 : 1.12Pa(20°C)
 蒸気密度(空気=1) : 3.06
 比重 : 0.960
 溶解性 : 水、エタノール、エーテルと混和する。
 n-オクタノール／水分配係数log Po/w : 0.79
 自然発火温度 : 452°C
 分解温度 : データなし

10 安定性及び反応性

化学的安定性 : 適切な保管条件下では安定。
 危険有害反応可能性 : 可燃性。72°C以上では蒸気/空気の爆発性混合気体を生じることがある。
 中程度の強さの酸である。塩基、強酸化剤と反応する。
 多くの金属を侵す。
 混触危険物質 : 強酸化剤
 危険有害な分解生成物 : 刺激性もしくは有毒なヒュームやガス、爆発性混合気体など

1 1 有害性情報

急性毒性(経口)	: ラット LD50=2000,2940,8790mg/kg(PATY(5th,2001))
急性毒性(経皮)	: ウサギ LD50=530mg/kg(PATY(5th,2001))
皮膚腐食性及び皮膚刺激性	: ウサギ severe irritant(PATY(5th,2001))、OECD Guide-line 404 で corrosive (IUCLID(2000)の報告がある。EUはR34に分類している。
眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性	: ウサギ severe corneal burnsの報告がある(PATY(5th,2001))。
感作性	: データなし
生殖細胞変異原性	: データ不足
発がん性	: データなし
生殖毒性	: 妊娠ラットの器官形成期に経口投与した試験において、母獣の死亡率が高く、体重増加も著しく抑制されたが、仔に対する影響は無かったとの報告はある(PATY(5th,2001))が、生殖毒性に関する報告は無くデータ不足。
特定標的臓器毒性(単回ばく露)	: ウサギの吸入試験でガイダンスの区分1に該当する0.4mg/L/1.4h(4時間換算値0.24mg/L)の用量で肺の鬱血、浮腫、無気肺、肺水腫が見られたとの報告がある(IUCLID,2000)。
特定標的臓器毒性(反復ばく露)	: ラットに35週間混餌投与した試験で4匹に胃の乳頭腫症、角質増生が見られたとの報告はある(PATY(5th,2001))が、詳細は不明でありデータ不足。
吸引性呼吸器有害性	: データなし

1 2 環境影響情報

水生環境有害性(急性)	: 魚類(オオミジンコ) LC50=61mg/L/48H(HSDB,2006)
水生環境有害性(長期間)	: 急速分解性があり(BOD=72%)、生物濃縮性が低いと推測される(PHYSROP Data base,2008)。
土壌中の移動性	: データなし
オゾン層への有害性	: 本製品はオゾン層破壊物質に該当しない。

1 3 廃棄上の注意

残余廃棄物	: 廃棄においては関連法規ならびに地方自治体の条例に従うこと。 都道府県知事の許可を得た専門の廃棄物処理業者に委託処理する。
汚染容器及び包装	: 空容器を廃棄する場合、内容物を完全に除去した後に処分する。

1 4 輸送上の注意

国連番号	: 2820
品名	: ノルマル酪酸(ブタン酸)
国連分類	: 8(腐食性物質)
容器等級	: III
海洋汚染物質	: 該当
注意事項	: 輸送前に容器の破損、腐食、漏れ等がないこと確認する。 転倒、落下、損傷がないように積み込み、荷くずれの防止を確実にを行う

1 5 適用法令

毒物及び劇物取締法	: 非該当
労働安全衛生法	: 非該当
化管法	: 非該当
化審法	: 既存物質
消防法	: 第4類 第3石油類水溶性液体
船舶安全法(危規則)	: 第3条危険物告示 別表第1 腐食性物質
航空法	: 施行規則 第194条 危険物告示 別表第1 腐食性物質
海洋汚染防止法	: 施行令 別表第1 有害物質 Y類物質 No.421
水質汚濁防止法	: 非該当
大気汚染防止法	: 非該当
土壌汚染対策法	: 非該当

1 6 その他の情報

引用文献等

化学品安全管理データブック、化学工業日報社

独立行政法人 製品評価技術基盤機構 化学物質総合情報提供システム(CHRIP)

航空危険物規則書 第52版邦訳

16514の化学商品 化学工業日報社(2014) 他

記載内容の取扱い

全ての資料や文献を調査したわけではないため情報漏れがあるかもしれません。また、新しい知見の発表や従来の説の訂正により内容に変更が生じます。重要な決定等にご利用される場合は、出典等をよく検討されるか、試験によって確かめられることをお勧めします。なお、含有量、物理化学的性質等の数値は保証値ではありません。また、注意事項は、通常的な取扱いを対象としたものなので、特殊な取扱いの場合には、この点にご配慮をお願い致します。

安全データシート

作成日 1994年 4月11日

改訂日 2020年 1月14日 1/5頁

SDS No.1021-43060

1 化学品及び会社情報

化学品の名称 : Hexanoic acid
提供者名 : ジーエルサイエンス株式会社
住所 : 東京都新宿区西新宿6-22-1 新宿スクエアタワー30F
電話番号 : 03-5323-6611
FAX番号 : 03-5323-6622
製品コード : 1021-43060
緊急連絡先 : ジーエルサイエンス(株)福島工場 品質保証課 電話 024-533-2244(代表)
整理番号(SDS No.) : 1021-43060
推奨用途 : 標準物質(日本産業規格(JIS)Q0030に定めるもの)
使用上の制限 : 試験・研究用

2 危険有害性の要約

GHS分類 : 急性毒性(経皮) : 区分3
急性毒性(吸入:粉じん、ミスト) : 区分4
皮膚腐食性/皮膚刺激性 : 区分1
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性 : 区分1
水生環境有害性 短期(急性) : 区分3
水生環境有害性 長期(慢性) : 区分3

GHSラベル要素

絵表示又はシンボル :



注意喚起語 : 危険

危険有害性情報 :

H311 皮膚に接触すると有毒
H332 吸入すると有害
H314 重篤な皮膚の薬傷及び目の損傷
H318 重篤な眼の損傷
H402 水生生物に有害
H412 長期継続的影響によって水生生物に有害

注意書き

[安全対策]

P260 粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。
P271 屋外又は換気の良い場所でのみ使用すること。
P264 取扱い後は手をよく洗うこと。
P280 保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。
P273 環境への放出を避けること。

[応急措置]

P310 直ちに医師に連絡すること。
P303+P361+P353 皮膚又は髪に付着した場合:直ちに汚染された衣類を全て脱ぐこと。皮膚を多量のシャワーと石鹸で洗うこと。
P304+P340 吸入した場合:空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
P301+P330+P331 飲み込んだ場合:口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。
P305+P351+P338 眼に入った場合:水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
P361+P364 汚染された衣類を直ちに全て脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。

[保管]

P405 施錠して保管すること。

7 取扱い及び保管上の注意

取扱い

- 技術的対策 : 屋内作業場における取扱い場所では、局所排気装置を使用する。
 アンプル開口時には保護眼鏡及び保護手袋を着用し、注意して切断する。
- 安全取扱注意事項 : 容器を転倒させ落下させ衝撃を与え又は引きずる等の粗暴な扱いをしない。
 漏れ、溢れ、飛散などしないようにし、みだりにミストや蒸気を発生させない。
 使用後は残液及び空容器を適切に廃棄する。
- 衛生対策 : 取扱い後は手、顔等をよく洗い、うがいをする。
 指定された場所以外では飲食、喫煙をしてはならない。
 休憩場所では手袋その他汚染した保護具を持ち込んではいない。
 取扱場所には関係者以外の立ち入りを禁止する。

保管

- 適切な保管条件 : 直射日光を避け、換気の良い場所で密閉して保管する。
- 避けるべき保管条件 : 直射日光、高温、火花等を発生する場所、混触危険物質との接触
- 技術的対策 : 施錠して保管すること。火気厳禁。
- 混触危険物質 : 強酸化性物質、強酸化剤、強塩基
- 安全な容器包装材料 : ガラス

8 ばく露防止措置

- 設備対策 : 屋内作業場での使用の場合は発生源の密閉化、局所排気装置を設置する。
 取り扱い場所の近くに安全シャワー、手洗い・洗眼設備を設け、その位置を明瞭に表示する。
- 管理濃度 作業環境評価基準 : 設定されていない
- 許容濃度
- 日本産業衛生学会 : 設定されていない
- ACGIH TLV-TWA : 設定されていない
- OSHA PEL-TWA : 設定されていない
- 保護具
- 呼吸器の保護具 : 保護マスク
- 手の保護具 : 不浸透性保護手袋
- 目の保護具 : 保護眼鏡
- 皮膚及び身体の保護具 : 保護衣・保護長靴
- 適切な衛生対策 : マスク等の吸着剤の交換は定期又は使用の都度行う。

9 物理的及び化学的性質

- 形状 : 液体
- 色 : 無色
- 臭い : 特徴的な山羊のような臭気
- pH : データなし
- 融点 : -3.4℃
- 沸点 : 205℃
- 引火点 : 102℃
- 爆発範囲 : 下限 : 1.3% 上限 : 9.3%
- 蒸気圧 : 0.18 mmHg(20℃)
- 蒸気密度(空気=1) : データなし
- 比重 : 0.9265(20℃)
- 溶解性 : エタノール、エーテルに可溶
- n*-オクタノール／水分配係数
- log Po/w : 1.92
- 自然発火温度 : データなし
- 分解温度 : データなし

10 安定性及び反応性

- 化学的安定性 : 適切な保管条件下では安定。
- 危険有害反応可能性 : 強塩基、酸化剤と激しく反応する。
熱や火炎で燃焼する。分解温度まで加熱すると、酸性の煙やヒュームを発生する。
- 避けるべき条件 : 日光、熱、裸火、高温、スパーク、静電気、その他発火源、混触危険物質との接触
- 混触危険物質 : 酸化剤、強塩基
- 危険有害な分解生成物 : 一酸化炭素、二酸化炭素

11 有害性情報

- 急性毒性(経口) : ラットLD50値は6440、3000 mg/kg bw(JECFA No.40(1998))、5970 mg/kg bw(PATY 5th(2001))。
- 急性毒性(経皮) : ウサギLD50値は630 mg/kg bw(PATY 5th(2001))
- 急性毒性(吸入:蒸気) : データなし。
- 急性毒性(吸入:粉じん、ミスト) : マウスLC50値(2時間)は4.1 mg/L(4時間換算値:2.05 mg/L)(BUA Report 241(2002))。
- 皮膚腐食性/皮膚刺激性 : ウサギを用いた試験(OECD TG 404:GLP準拠)において壊死(necrosis)とその後の癒痕形成(scar formation)がみられ、適用後21日間癒痕が残留している(BUA Report 241(2002))。
- 眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性 : ウサギを用いた試験において角膜に重度の熱傷(severe burn)がみられ(PATY 5th(2001))、かつ、皮膚に対し腐食性として区分されている。
- 呼吸器感受性 : データなし。
- 皮膚感受性 : 26人のボランティアによるMaximization Testにおいて、陽性反応はみられなかった(BUA Report 241(2002))と報告されているが、この他に試験データは無い。
- 生殖細胞変異原性 : in vivoにおける試験データは無い。in vitroにおけるエームス試験(JECFA No.40(1998)、NTP DB(access on 8. 2009)、PATY 5th(2001))は全て陰性、マウスリンフォーマ試験(JECFA No.40(1998))は代謝活性化なしでは陰性(代謝活性化ありでは擬陽性)である。
- 発がん性 : データなし。
- 生殖毒性 : データなし。
- 特定標的臓器毒性(単回ばく露) : ICSC(J)(1998)において、短期曝露の影響として「気道を刺激する」との記載がある。
- 特定標的臓器毒性(反復ばく露) : ラットを用いた2つの3週間混餌投与試験(用量:約1000, 2000, 4000 mg/kg(90日換算値:233, 467, 933 mg/kg))において、一方は肝臓のペルオキシソームおよびペルオキシソーム酵素に影響はみられない(JECFA No.40(1998))との記載、他方は低用量では血清中のトリグリセリドレベルが減少したがコレステロールレベルに影響は無く、中・高用量ではトリグリセリド・コレステロールともに影響はみられない(BUA Report 241(2002))との記載のみであり、その他臓器への影響に関する記載は無い。ラットを用いた150日間混餌投与試験(用量:約5000 mg/kg)においても、腺胃および前胃に変化はみられない(JECFA No.40(1998))との記載のみである。
- 誤えん有害性 : ICSC(J)(1998)において「この液体を飲み込むと、肺に吸い込んで化学性肺炎を起こすことがある」との記載がある。

12 環境影響情報

- 水性環境有害性 短期(急性) : 魚類(ファットヘッドミノー)での96時間LC50 = 88 mg/L(AQUIRE, 2010; HSDB, 2006; BUA 241, 2002)
- 水性環境有害性 長期(慢性) : 急性毒性区分3であり、急速分解性に関する信頼性があるデータがない。
- 分解性/残留性 : データなし
- 生体蓄積性 : データなし
- 土壤中の移動性 : データなし
- オゾン層への有害性 : 本製品はオゾン層破壊物質に該当しない。

1 3	廃棄上の注意	
	残余廃棄物	: 廃棄においては関連法規ならびに地方自治体の条例に従うこと。 都道府県知事の許可を得た専門の廃棄物処理業者に委託処理する。
	汚染容器及び包装	: 空容器を廃棄する場合、内容物を完全に除去した後に処分する。

1 4	輸送上の注意	
	国連番号	: 2829
	品名	: Caproic acid
	国連分類(危険有害性クラス)	: 8
	容器等級	: III
	海洋汚染物質	: 該当
	注意事項	: 輸送前に容器の破損、腐食、漏れ等がないこと確認する。 転倒、落下、損傷がないように積み込み、荷くずれの防止を確実に行う

1 5	適用法令	
	毒物及び劇物取締法	: 劇物(指定令第2条 No.91-3)
	労働安全衛生法	: 非該当
	化管法	: 非該当
	化審法	: 既存物質
	消防法	: 第4類引火性液体、第三石油類非水溶性液体(法第2条第7項危険物別表第1)
	船舶安全法(危規則)	: 腐食性物質(危機則第3条危険物告示別表第1) No.2829
	航空法	: 腐食性物質(施行規則第194条危険物告示別表第1) No.2829
	海洋汚染防止法	: 有害液体物質(Y類物質)(施行令別表第1) No.307
	水質汚濁防止法	: 非該当
	大気汚染防止法	: 非該当
	土壌汚染対策法	: 非該当
	オゾン層保護法	: 非該当

1 6	その他の情報	
	引用文献等	
		化学品安全管理データブック、化学工業日報社 16918の化学商品 化学工業日報社(2018) 独立行政法人 製品評価技術基盤機構 化学物質総合情報提供システム(CHRIP) 航空危険物規則書 第52版邦訳 等・他

記載内容の取扱い

全ての資料や文献を調査したわけではないため情報漏れがあるかもしれません。また、新しい知見の発表や従来の説の訂正により内容に変更が生じます。重要な決定等にご利用される場合は、出典等をよく検討されるか、試験によって確かめられることをお勧めします。なお、含有量、物理化学的性質等の数値は保証値ではありません。また、注意事項は、通常的な取扱いを対象としたものなので、特殊な取扱いの場合には、この点にご配慮をお願い致します。

安全データシート

SDS No.1021-43080

作成日 1994年 4月11日

改訂日 2020年 1月14日 1/4頁

1 化学品及び会社情報

化学品の名称	: Octanoic Acid
提供者名	: ジーエルサイエンス株式会社
住所	: 東京都新宿区西新宿6-22-1 新宿スクエアタワー30F
電話番号	: 03-5323-6611
FAX番号	: 03-5323-6622
製品コード	: 1021-43080
緊急連絡先	: ジーエルサイエンス(株)福島工場 品質保証課 電話 024-533-2244(代表)
整理番号(SDS No.)	: 1021-43080
推奨用途	: 標準物質(日本産業規格(JIS)Q0030に定めるもの)
使用上の制限	: 試験・研究用

2 危険有害性の要約

GHS分類	: 分類できない
物理的及び化学的危険性	: 通常の手扱いは危険性は低い。
健康に対する有害性	: 皮膚や眼、粘膜などに接触すると刺激作用がある。 経口毒性は低いが大량に摂取すると、有害である。 長期ばく露により、不快感、腹痛、下痢、吐き気等の症状が出る恐れがある。
環境への影響	: データなし
その他の情報	: 内容物や容器を廃棄する場合は、都道府県知事の許可を得た専門の廃棄物処理業者に委託すること。

3 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区分	: 化学物質
化学名	: オクタン酸
別名	: Caprylic acid、カプリル酸
濃度又は濃度範囲(含有率)	: >99%
化学式	: $\text{CH}_3(\text{CH}_2)_6\text{COOH}$
分子量	: 144.21
官報公示整理番号	: 2-608
CAS RN	: 124-07-2
危険有害成分	: 特になし

4 応急処置

吸入した場合	: 新鮮な空気のある場所に移動し、安静保温に努める。気分が悪い場合は医師の手当てを受けること。
皮膚に付着した場合	: 石鹼と大量の水で洗い流す。刺激が直らない場合、炎症を生じた場合には医師の手当てを受ける。
目に入った場合	: 直ちに、コンタクトレンズを外し、少なくとも15分以上大量の水で眼を洗う。直ちに医師の手当てを受ける。
飲み込んだ場合	: 口をすすぎ、大量の水で薄めて、直ちに医師の手当てを受ける。 無理に吐かせないこと。
暴露した場合	: 医師に連絡すること。汚染された衣類は再使用する場合には洗濯すること。
急性症状及び遅発性症状の最も重要な兆候症状	: データなし
応急措置をする者の保護	: 適切な保護具を着用すること。

5 火災時の措置

消火剤	: 粉末、泡、炭酸ガス、乾燥砂、水噴霧
使ってはならない消火剤	: 棒状放水
火災時の特有危険有害性	: 火災時に刺激性もしくは有毒なヒューム(またはガス)が発生するため、消火の際には煙を吸い込まないように適切な保護具を着用する。
特有の消火方法	: 火元の燃焼源を断ち、消火剤を用いて消火する。移動可能な容器は速やかに安全な場所に移す。移動不可能な場合には周辺を水噴霧で冷却する。
消火を行う者の保護	: 消火活動は風上から行い、有害なガスの吸入を避ける。状況に応じて呼吸保護具を着用する。

6 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

: 屋内の場合、処理が終わるまで十分に換気を行う。漏出した場所の周辺に、ロープを張るなどして関係者以外の立ち入りを禁止する。作業の際には適切な保護具を着用し、飛沫等が皮膚に付着したり、粉塵、ガスを吸入しないようにする。風上から作業して、風下の人を退避させる。こぼれた場所はすべりやすいために注意する。

環境に対する注意事項

: 漏出した製品が河川等に排出され、環境への影響を起こさないように注意する。汚染された排水が適切に処理されずに環境へ排出しないように注意する。

回収・中和

: 火気厳禁とし、適当な保護具を着用してできるだけ回収する。こぼしたところを完全に掃き取った後、大量の水を用いて洗い流す。

7 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策

: 屋内作業場における取扱い場所では、局所排気装置を使用する。

安全取扱注意事項

: 容器を転倒させ落下させ衝撃を与え又は引きずる等の粗暴な扱いをしない。漏れ、溢れ、飛散などしないようにし、みだりに粉塵や蒸気を発生させない。使用後は容器を密閉する。

取扱い場所には関係者以外の立ち入りを禁止する

作業衣、作業靴は導電性のものを用いる。

衛生対策

: 取扱い後は、手、顔等をよく洗い、うがいをする。

指定された場所以外では飲食、喫煙をしてはならない。

休憩場所では手袋その他汚染した保護具を持ち込んではいない。

吸い込んだり、目、皮膚及び衣類に触れないように、適切な保護具を着用する。

保管

適切な保管条件

: 直射日光を避け、換気のよいなるべく涼しい場所に密閉して保管する。不活性ガスを封入して保管すること。

技術的対策

: 施錠して保管すること。

混触危険物質

: 強酸化性物質

安全な容器包装材料

: ガラス

8 暴露防止及び保護措置

設備対策

: 屋内作業場での使用の場合は発生源の密閉化、または局所排気装置を設置する。取扱い場所の近くに安全シャワー、手洗い・洗眼設備を設け、その位置を明瞭に表示する。

管理濃度 作業環境評価基準

: 設定されていない

許容濃度

日本産業衛生学会

: 設定されていない

ACGIH TLV(s)

: 設定されていない

OSHA PEL

: 設定されていない

保護具

呼吸器の保護具

: 保護マスク

手の保護具

: 保護手袋

眼の保護具

: 保護眼鏡

皮膚及び身体の保護具

: 保護衣

適切な衛生対策

: マスク等の吸着剤の交換は定期又は使用の都度行う。

9 物理的及び化学的性質

物理的状態

形状

: 液体

色

: 無色～薄い黄色

臭い

: 特異臭

pH

: データなし

融点

: 17℃

沸点

: 238℃

引火点

: 109℃

爆発限界

: データなし

蒸気圧

: 1.333hPa

蒸気密度(空気=1)

: 5.0(Air=1)

密度

: 0.91

溶解性	: エタノール、アセトンに溶けやすい。水に不溶。
オクタノール／水分配係数log Po/w	: データなし
自然発火温度	: データなし
分解温度	: データなし
1 0 安定性及び反応性	
安定性	: 通常取り扱い条件下では安定。
危険有害反応可能性	: データなし
避けるべき条件	: 日光、熱、裸火、高温、スパーク、静電気、その他発火源
危険有害な分解生成物	: 一酸化炭素
1 1 有害性情報	
急性毒性	: データなし
皮膚腐食性及び皮膚刺激性	: データなし
眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性	: データなし
生殖細胞変異原性	: データなし
発がん性	: データなし
生殖毒性	: データなし
特定標的臓器毒性	: データなし
吸引性呼吸器有害性	: データなし
1 2 環境影響情報	
生態毒性	: データなし
残留性/分解性	: データなし
生態蓄積性	: データなし
オゾン層への有害性	: 本製品はモントリオール議定書の附属書に列記されていない。
1 3 廃棄上の注意	
残余廃棄物	: 廃棄においては関連法規ならびに地方自治体の条例に従うこと。 上記方法による処理ができない場合は都道府県知事の許可を得た専門の廃棄物処理業者に委託処理する。
汚染容器及び包装	: 空容器を廃棄する場合、内容物を完全に除去した後に処分する。
1 4 輸送上の注意	
国連番号	: 3265
品名	: その他の腐食性物質(有機物)(液体)(酸性のもの)(オクタン酸)
国連分類	: 8(腐食性物質)
容器等級	: III
海洋汚染物質	: 非該当
注意事項	: 運搬に際しては容器に漏れのないことを確かめ、転倒、落下、損傷がないように積み込み、荷くずれの防止を確実にこなう。
1 5 適用法令	
毒物及び劇物取締法	: 非該当
労働安全衛生法	: 非該当
化学物質排出把握管理促進法	: 非該当
化審法	: 既存物質
消防法	: 危険物第4類 第3石油類 (非水溶性) 危険等級3
船舶安全法(危規則)	: 腐食性物質
航空法	: 腐食性物質
海洋汚染防止法	: 施行令別表第1 有害液体物質 Z類物質

1 6 その他の情報

引用文献等

化学品安全管理データブック、化学工業日報社

独立行政法人 製品評価技術基盤機構 化学物質総合情報提供システム(CHRIP)

航空危険物規則書 第52版邦訳

16514の化学商品 化学工業日報社(2014) 他

記載内容の取扱い

全ての資料や文献を調査したわけではないため情報漏れがあるかもしれません。また、新しい知見の発表や従来の説の訂正により内容に変更が生じます。重要な決定等にご利用される場合は、出典等をよく検討されるか、試験によって確かめられることをお勧めします。なお、含有量、物理化学的性質等の数値は保証値ではありません。また、注意事項は、通常の取扱いを対象としたものなので、特殊な取扱いの場合には、この点にご配慮をお願い致します。

安全データシート

SDS No.1021-43100

作成日 1994年 4月11日
改訂日 2020年 1月14日 1/4頁

1 化学品及び会社情報

化学品の名称 : Decanoic acid
提供者名 : ジーエルサイエンス株式会社
住所 : 東京都新宿区西新宿6-22-1 新宿スクエアタワー30F
電話番号 : 03-5323-6611
FAX番号 : 03-5323-6622
製品コード : 1021-43100
緊急連絡先 : ジーエルサイエンス(株)福島工場 品質保証課 電話 024-533-2244(代表)
整理番号(SDS No.) : 1021-43100
推奨用途 : 標準物質(日本産業規格(JIS)Q0030に定めるもの)
使用上の制限 : 試験・研究用

2 危険有害性の要約

GHS分類 : 皮膚腐食性及び皮膚刺激性 : 区分2
眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性 : 区分1
水生環境有害性(急性) : 区分3
水生環境有害性(慢性) : 区分3

ラベル要素 :



注意喚起語 : 危険
危険有害性情報 : 皮膚刺激
重篤な眼の損傷
水生生物に有害
長期継続的影響によって水生生物に有害

注意書き

[安全対策] : 取扱後はよく手を洗うこと。
保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を使用すること。
環境への放出を避けること。
[応急措置] : 皮膚に付着した場合:多量の水と石鹼で洗うこと。
皮膚刺激が生じた場合:医師の手当てを受けること。
汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。
眼に入った場合:水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用して
いて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。直ちに医師に連
絡すること。
直ちに医師に連絡すること。
[保管] : 施錠して保管すること。
[廃棄] : 内容物や容器を廃棄する場合は、都道府県知事の許可を得た専門の廃棄物処理業
者に委託すること。

上記で記載がない危険有害性は分類できない、分類対象外または区分外。

3 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区分 : 化学物質
化学名 : デカン酸
別名 : n-Capric acid、カプリン酸
濃度又は濃度範囲 : >99%
化学式 : CH₃(CH₂)₈COOH
分子量 : 172.27
官報公示整理番号 : 2-608
CAS RN : 334-48-5
危険有害成分 : 特になし

4 応急処置

吸入した場合	: 新鮮な空気のある場所に移動し、安静保温に努める。気分が悪い場合は医師の手当てを受けること。
皮膚に付着した場合	: 石鹼と大量の水で洗い流す。刺激が直らない場合、炎症を生じた場合には医師の手当てを受ける。
目に入った場合	: 直ちに、コンタクトレンズを外し、少なくとも15分以上大量の水で眼を洗う。直ちに医師の手当てを受ける。
飲み込んだ場合	: 口をすすぎ、大量の水で薄めて、直ちに医師の手当てを受ける。 無理に吐かせないこと。
暴露した場合	: 医師に連絡すること。汚染された衣類は再使用する場合には洗濯すること。
急性症状及び遅発性症状の最も重要な兆候症状	: データなし
応急措置をする者の保護	: 適切な保護具を着用すること。

5 火災時の措置

消火剤	: 粉末、泡、炭酸ガス、乾燥砂、水噴霧
使ってはならない消火剤	: 棒状放水
火災時の特有危険有害性	: 火災時に刺激性もしくは有毒なヒューム(またはガス)が発生するため、消火の際には煙を吸い込まないように適切な保護具を着用する。
特有の消火方法	: 火元の燃焼源を断ち、消火剤を用いて消火する。移動可能な容器は速やかに安全な場所に移す。移動不可能な場合には周辺を水噴霧で冷却する。
消火を行う者の保護	: 消火活動は風上から行い、有害なガスの吸入を避ける。状況に応じて呼吸保護具を着用する。

6 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置	: 屋内の場合、処理が終わるまで十分に換気を行う。漏出した場所の周辺に、ロープを張るなどして関係者以外の立ち入りを禁止する。作業の際には適切な保護具を着用し、飛沫等が皮膚に付着したり、粉塵、ガスを吸入しないようにする。風上から作業して、風下の人を退避させる。こぼれた場所はすべりやすいために注意する。
環境に対する注意事項	: 漏出した製品が河川等に排出され、環境への影響を起こさないように注意する。汚染された排水が適切に処理されずに環境へ排出しないように注意する。
回収・中和	: 火気厳禁とし、適当な保護具を着用してできるだけ回収する。こぼしたところを完全に掃き取った後、大量の水を用いて洗い流す。

7 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策	: 屋内作業場における取扱い場所では、局所排気装置を使用する。
安全取扱注意事項	: 容器を転倒させ落させ衝撃を与え又は引きずる等の粗暴な扱いをしない。 漏れ、溢れ、飛散などしないようにし、みだりに粉塵や蒸気を発生させない。 使用後は容器を密閉する。 取扱い場所には関係者以外の立ち入りを禁止する 作業衣、作業靴は導電性のものを用いる。
衛生対策	: 取扱い後は、手、顔等をよく洗い、うがいをする。 指定された場所以外では飲食、喫煙をしてはならない。 休憩場所では手袋その他汚染した保護具を持ち込んではいない。 吸い込んだり、目、皮膚及び衣類に触れないように、適切な保護具を着用する。

保管

適切な保管条件	: 直射日光を避け、換気のよいなるべく涼しい場所に密閉して保管する。不活性ガスを封入して保管すること。
技術的対策	: 施錠して保管すること。
混蝕危険物質	: 強酸化性物質
安全な容器包装材料	: ガラス

8 暴露防止及び保護措置

設備対策	: 屋内作業場での使用の場合は発生源の密閉化、または局所排気装置を設置する。取扱い場所の近くに安全シャワー、手洗い・洗眼設備を設け、その位置を明瞭に表示する。
管理濃度 作業環境評価基準	: 設定されていない
許容濃度	
日本産業衛生学会	: 設定されていない
ACGIH TLV(s)	: 設定されていない
OSHA PEL	: 設定されていない
保護具	
呼吸器の保護具	: 保護マスク
手の保護具	: 保護手袋
眼の保護具	: 保護眼鏡
皮膚及び身体の保護具	: 保護衣
適切な衛生対策	: マスク等の吸着剤の交換は定期又は使用の都度行う。

9 物理的及び化学的性質

形状	: 結晶～塊
色	: 白色～黄褐色
臭い	: 不快臭
pH	: データなし
融点	: 32℃
沸点	: 268～270℃
引火点	: 150℃
爆発限界	: データなし
蒸気圧	: データなし
蒸気密度(空気=1)	: データなし
密度	: 0.8858
溶解性	: エタノール、アセトンに溶けやすい。水にほとんど溶けない。
オクタノール／水分配係数log Po/w	: データなし
自然発火温度	: データなし
分解温度	: データなし

10 安定性及び反応性

安定性	: 通常取り扱い条件下では安定。
危険有害反応可能性	: データなし
避けるべき条件	: 日光、熱
危険有害な分解生成物	: 一酸化炭素

11 有害性情報

急性毒性	: 区分外
皮膚腐食性及び皮膚刺激性	: ウサギの4-24時間投与試験で「moderately to severely irritating」(IUCLID(2000))と記述されている。
眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性	: ウサギで角膜混濁、結膜や虹彩の強い損傷がみられる(IUCLID(2000))、また、ウサギでレベル9(最高は10)の損傷、72時間後の角膜損傷はレベル10になる(HSDB(2002))と記述されている。
生殖細胞変異原性	: データなし
発がん性	: データなし
生殖毒性	: データなし
特定標的臓器毒性	: データなし
吸引性呼吸器有害性	: データなし

1 2	環境影響情報	
	水生環境有害性(急性)	: 藻類(Pseudokirchneriella subcapitata) EC50 = 12mg/L/72hr(環境庁生態影響試験,1998)
	水生環境有害性(長期間)	: 急速分解性に関するデータがなく、生物蓄積性がある。(LogKow = 4.09(PHYSPROP Database, 2008))
	残留性/分解性	: 生物蓄積性があると推定される(log Kow=4.09,PHYSPROP Database(2008))
	生態蓄積性	: データなし
	オゾン層への有害性	: 本製品はモントリオール議定書の附属書に列記されていない。
1 3	廃棄上の注意	
	残余廃棄物	: 廃棄においては関連法規ならびに地方自治体の条例に従うこと。 上記方法による処理ができない場合は都道府県知事の許可を得た専門の廃棄物処理業者に委託処理する。
	汚染容器及び包装	: 空容器を廃棄する場合、内容物を完全に除去した後に処分する。
1 4	輸送上の注意	
	国連番号	: 非該当
	国連分類	: 非該当
	海洋汚染物質	: 非該当
	注意事項	: 運搬に際しては容器に漏れのないことを確かめ、転倒、落下、損傷がないように積み込み、荷くずれの防止を確実にこなう。
1 5	適用法令	
	毒物及び劇物取締法	: 非該当
	労働安全衛生法	: 非該当
	化管法	: 第一種指定化学物質 No.256
	化審法	: 既存物質
	消防法	: 第9条の4 政令別表第4 指定可燃物 可燃性固体
	船舶安全法(危規則)	: 非該当
	航空法	: 非該当
	海洋汚染防止法	: 施行令別表第1 有害物質 X類物質 No.45
1 6	その他の情報	
	引用文献等	
	化学品安全管理データブック、化学工業日報社	
	独立行政法人 製品評価技術基盤機構 化学物質総合情報提供システム(CHRIP)	
	航空危険物規則書 第52版邦訳	
	16514の化学商品 化学工業日報社(2014) 他	

記載内容の取扱い

全ての資料や文献を調査したわけではないため情報漏れがあるかもしれません。また、新しい知見の発表や従来の説の訂正により内容に変更が生じます。重要な決定等にご利用される場合は、出典等をよく検討されるか、試験によって確かめられることをお勧めします。なお、含有量、物理化学的性質等の数値は保証値ではありません。また、注意事項は、通常的な取扱いを対象としたものなので、特殊な取扱いの場合には、この点にご配慮をお願い致します。

安全データシート

作成日 1994年 4月11日

改訂日 2020年 1月14日 1/4頁

SDS No.1021-43120

1 化学品及び会社情報

化学品の名称 : Dodecanoic acid
提供者名 : ジーエルサイエンス株式会社
住所 : 東京都新宿区西新宿6-22-1 新宿スクエアタワー30F
電話番号 : 03-5323-6611
FAX番号 : 03-5323-6622
製品コード : 1021-43120
緊急連絡先 : ジーエルサイエンス(株)福島工場 品質保証課 電話 024-533-2244(代表)
整理番号(SDS No.) : 1021-43120
推奨用途 : 標準物質(日本産業規格(JIS)Q0030に定めるもの)
使用上の制限 : 試験・研究用

2 危険有害性の要約

GHS分類 : 分類できない
物理的及び化学的危険性 : 通常の手扱いは危険性は低い。
健康に対する有害性 : 経口毒性は低いが大いに摂取すると、有害である。
長期ばく露により、不快感、腹痛、下痢吐き気等の症状が出る恐れがある。
環境への影響 : データなし
その他の情報 : 内容物や容器を廃棄する場合は、都道府県知事の許可を得た専門の廃棄物処理業者に委託すること。

3 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区分 : 化学物質
化学名(又は一般名) : ドデカン酸
別名 : Lauric Acid、ラウリン酸
濃度 : >99%
化学式 : $\text{CH}_3(\text{CH}_2)_{10}\text{COOH}$
分子量 : 200.31
官報公示整理番号 : 2-608
CAS RN : 143-07-7
危険有害成分 : 特になし

4 応急措置

吸入した場合 : 新鮮な空気のある場所に移動し、安静保温に努める。気分が悪い場合は医師の手当てを受けること。
皮膚に付着した場合 : 石鹼と大量の水で洗い流す。刺激が直らない場合、炎症を生じた場合には医師の手当てを受ける。
目に入った場合 : 直ちに、コンタクトレンズを外し、少なくとも15分以上大量の水で眼を洗う。直ちに医師の手当てを受ける。
飲み込んだ場合 : 口をすすぎ、大量の水で薄めて、直ちに医師の手当てを受ける。
無理に吐かせないこと。
暴露した場合 : 医師に連絡すること。汚染された衣類は再使用する場合には洗濯すること。
急性症状及び遅発性症状の最も重要な兆候症状 : データなし
応急措置をする者の保護 : 適切な保護具を着用すること。

5 火災時の措置

消火剤 : 水噴霧、泡消火剤、粉末消火剤
使ってはならない消火剤 : 棒状水
火災時の特有危険有害性 : 火災時に刺激性もしくは有害なヒューム(またはガス)が発生するため、消火の際には煙を吸い込まないように適切な保護具を着用する。
特有の消火方法 : 移動可能な容器は速やかに安全な場所に移す。移動不可能な場合には周辺を水噴霧で冷却する。作業は風上から行い、必ず保護具を着用する。
消火を行う者の保護 : 燃焼又は高温により有害なガスが発生するので、呼吸保護具を着用する。

6 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

: 屋内の場合、処理が終わるまで十分に換気を行う。漏出した場所の周辺に、ロープを張るなどして関係者以外の立ち入りを禁止する。作業の際には適切な保護具を着用し、飛沫等が皮膚に付着したり、粉塵、ガスを吸入しないようにする。風上から作業して、風下の人を退避させる。

環境に対する注意事項

: 漏出した製品が河川等に排出され、環境への影響を起こさないように注意する。汚染された排水が適切に処理されずに環境へ排出しないように注意する。

回収・中和

: 適切な保護具をつけて処理すること。土砂・吸着剤などに吸着させて取り除くか、多量の水を用いて洗い流す。

7 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策

: 屋内作業場における取扱い場所では、局所排気装置を使用する。

安全取扱注意事項

: 容器を転倒させ落下させ衝撃を与え又は引きずる等の粗暴な扱いをしない。漏れ、溢れ、飛散などしないようにし、みだりに粉塵等を発生させない。使用後は容器を密閉する。

衛生対策

: 取扱い後は手、顔等をよく洗い、うがいをする。
指定された場所以外では飲食、喫煙をしてはならない。
休憩場所では手袋その他汚染した保護具を持ち込んではいない。
取扱場所には関係者以外の立ち入りを禁止する。

保管

適切な保管条件

: 容器は遮光し、換気の良いなるべく涼しい場所に密閉して保管する。

避けるべき保管条件

: データなし

技術的対策

: データなし

混触危険物質

: 強酸化剤

安全な容器包装材料

: ポリプロピレン

8 ばく露防止措置

設備対策

: 屋内作業場での使用の場合は発生源の密閉化、局所排気装置を設置する。
取り扱い場所の近くに安全シャワー、手洗い・洗眼設備を設け、その位置を明瞭に表示する。

管理濃度 作業環境評価基準 : 設定されていない

許容濃度

日本産業衛生学会 : 設定されていない

ACGIH TLV-TWA : 設定されていない

OSHA PEL-TWA : 設定されていない

保護具

呼吸器の保護具 : 保護マスク

手の保護具 : 保護手袋

目の保護具 : 保護眼鏡

皮膚及び身体の保護具 : 保護衣・保護長靴

9 物理的及び化学的性質

形状 : 粒状又は塊

色 : 白色

臭い : データなし

pH : データなし

融点 : 42~46℃

沸点 : 225℃(133hPa)

引火点 : 165℃

爆発範囲 : データなし

蒸気圧 : 1.33hPa(121.0℃)

蒸気密度(空気=1) : データなし

比重 : 0.864(60℃)

溶解性	: エタノール及びアセトンに溶け、水にほとんど溶けない。
<i>n</i> -オクタノール／水分配係数log Po/w	: データなし
自然発火温度	: データなし
分解温度	: データなし
1 0 安定性及び反応性	
化学的安定性	: 適切な保管条件下では安定。
危険有害反応可能性	: データなし。
避けるべき条件	: 高温、直射日光、裸火、高温、スパーク、静電気、その他発火源
混触危険物質	: 強酸化剤
危険有害な分解生成物	: CO、CO ₂
1 1 有害性情報	
急性毒性	: データなし
皮膚腐食性及び皮膚刺激性	: データなし
眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性	: データなし
感作性	: データなし
生殖細胞変異原性	: データなし
発がん性	: データなし
生殖毒性	: データなし
特定標的臓器毒性	: データなし
吸引性呼吸器有害性	: データなし
1 2 環境影響情報	
生態毒性	: データなし
残留性/分解性	: データなし
生態蓄積性	: データなし
土壤中の移動性	: データなし
オゾン層への有害性	: 本製品はモントリオール議定書の附属書に列記されていない。
1 3 廃棄上の注意	
残余廃棄物	: 廃棄においては関連法規ならびに地方自治体の条例に従うこと。 都道府県知事の許可を得た専門の廃棄物処理業者に委託処理する。
汚染容器及び包装	: 空容器を廃棄する場合、内容物を完全に除去した後に処分する。
1 4 輸送上の注意	
国連番号	: 非該当
国連分類	: 非該当
海洋汚染物質	: 該当
注意事項	: 輸送前に容器の破損、腐食、漏れ等がないこと確認する。 転倒、落下、損傷がないように積み込み、荷くずれの防止を確実にを行う。
1 5 適用法令	
毒物及び劇物取締法	: 非該当
労働安全衛生法	: 非該当
化管法	: 非該当
化審法	: 既存物質
消防法	: 第9条の4 政令別表第4 指定可燃物 可燃性固体
船舶安全法(危規則)	: 非該当
航空法	: 非該当
海洋汚染防止法	: 施行令 別表第 1 有害物質 Y 類物質 No.178
水質汚濁防止法	: 非該当
大気汚染防止法	: 非該当

1.6 その他の情報

引用文献等

化学品安全管理データブック、化学工業日報社

独立行政法人 製品評価技術基盤機構 化学物質総合情報提供システム(CHRIP)

航空危険物規則書 第52版邦訳

16514の化学商品 化学工業日報社(2014) 他

記載内容の取扱い

全ての資料や文献を調査したわけではないため情報漏れがあるかもしれません。また、新しい知見の発表や従来の説の訂正により内容に変更が生じます。重要な決定等にご利用される場合は、出典等をよく検討されるか、試験によって確かめられることをお勧めします。なお、含有量、物理化学的性質等の数値は保証値ではありません。また、注意事項は、通常的な取扱いを対象としたものなので、特殊な取扱いの場合には、この点にご配慮をお願い致します。

安全データシート

作成日 1994年 4月11日

改訂日 2020年 1月14日 1/4頁

SDS No.1021-43140

1 化学品及び会社情報

化学品の名称 : Tetradecanoic acid
提供者名 : ジーエルサイエンス株式会社
住所 : 東京都新宿区西新宿6-22-1 新宿スクエアタワー30F
電話番号 : 03-5323-6611
FAX番号 : 03-5323-6622
製品コード : 1021-43140
緊急連絡先 : ジーエルサイエンス(株)福島工場 品質保証課 電話 024-533-2244(代表)
整理番号(SDS No.) : 1021-43140
推奨用途 : 標準物質(日本産業規格(JIS)Q0030に定めるもの)
使用上の制限 : 試験・研究用

2 危険有害性の要約

GHS分類 : 分類できない
物理的及び化学的危険性 : 通常の手扱いは危険性は低い。
健康に対する有害性 : 経口毒性は低いが大いに摂取すると、有害である。
長期ばく露により、不快感、腹痛、下痢吐き気等の症状が出る恐れがある。
環境への影響 : データなし
その他の情報 : 内容物や容器を廃棄する場合は、都道府県知事の許可を得た専門の廃棄物処理業者に委託すること。

3 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区分 : 化学物質
化学名(又は一般名) : テトラデカン酸
別名 : Myristic acid、ミリスチン酸
濃度 : >99%
化学式 : $\text{CH}_3(\text{CH}_2)_{12}\text{COOH}$
分子量 : 228.37
官報公示整理番号 : 2-608
CAS RN : 544-63-8
危険有害成分 : 特になし

4 応急措置

吸入した場合 : 新鮮な空気のある場所に移動し、安静保温に努める。気分が悪い場合は医師の手当てを受けること。
皮膚に付着した場合 : 石鹼と大量の水で洗い流す。刺激が直らない場合、炎症を生じた場合には医師の手当てを受ける。
目に入った場合 : 直ちに、コンタクトレンズを外し、少なくとも15分以上大量の水で眼を洗う。直ちに医師の手当てを受ける。
飲み込んだ場合 : 口をすすぎ、大量の水で薄めて、直ちに医師の手当てを受ける。
無理に吐かせないこと。
暴露した場合 : 医師に連絡すること。汚染された衣類は再使用する場合には洗濯すること。
急性症状及び遅発性症状の最も重要な兆候症状 : データなし
応急措置をする者の保護 : 適切な保護具を着用すること。

5 火災時の措置

消火剤 : 水噴霧、泡消火剤、粉末消火剤
使ってはならない消火剤 : 棒状水
火災時の特有危険有害性 : 火災時に刺激性もしくは有害なヒューム(またはガス)が発生するため、消火の際には煙を吸い込まないように適切な保護具を着用する。
特有の消火方法 : 移動可能な容器は速やかに安全な場所に移す。移動不可能な場合には周辺を水噴霧で冷却する。作業は風上から行い、必ず保護具を着用する。
消火を行う者の保護 : 燃焼又は高温により有害なガスが発生するので、呼吸保護具を着用する。

6 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

: 屋内の場合、処理が終わるまで十分に換気を行う。漏出した場所の周辺に、ロープを張るなどして関係者以外の立ち入りを禁止する。作業の際には適切な保護具を着用し、飛沫等が皮膚に付着したり、粉塵、ガスを吸入しないようにする。風上から作業して、風下の人を退避させる。

環境に対する注意事項

: 漏出した製品が河川等に排出され、環境への影響を起こさないように注意する。汚染された排水が適切に処理されずに環境へ排出しないように注意する。

回収・中和

: 適切な保護具をつけて処理すること。土砂・吸着剤などに吸着させて取り除くか、多量の水を用いて洗い流す。

7 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策

: 屋内作業場における取扱い場所では、局所排気装置を使用する。

安全取扱注意事項

: 容器を転倒させ落下させ衝撃を与え又は引きずる等の粗暴な扱いをしない。漏れ、溢れ、飛散などしないようにし、みだりに粉塵等を発生させない。使用後は容器を密閉する。

衛生対策

: 取扱い後は手、顔等をよく洗い、うがいをする。
指定された場所以外では飲食、喫煙をしてはならない。
休憩場所では手袋その他汚染した保護具を持ち込んではいない。
取扱場所には関係者以外の立ち入りを禁止する。

保管

適切な保管条件

: 容器は遮光し、換気の良いなるべく涼しい場所に密閉して保管する。

避けるべき保管条件

: データなし

技術的対策

: データなし

混触危険物質

: 強酸化剤

安全な容器包装材料

: ガラス

8 ばく露防止措置

設備対策

: 屋内作業場での使用の場合は発生源の密閉化、局所排気装置を設置する。
取り扱い場所の近くに安全シャワー、手洗い・洗眼設備を設け、その位置を明瞭に表示する。

管理濃度 作業環境評価基準 : 設定されていない

許容濃度

日本産業衛生学会 : 設定されていない

ACGIH TLV-TWA : 設定されていない

OSHA PEL-TWA : 設定されていない

保護具

呼吸器の保護具 : 保護マスク

手の保護具 : 保護手袋

目の保護具 : 保護眼鏡

皮膚及び身体の保護具 : 保護衣・保護長靴

9 物理的及び化学的性質

形状 : 小粒状

色 : 白色

臭い : データなし

pH : データなし

融点 : 53~56°C

沸点 : 196.5°C(2.0kPa)

引火点 : 155°C

爆発範囲 : データなし

蒸気圧 : データなし

蒸気密度(空気=1) : データなし

比重 : 0.8622

溶解性	: エーテル、熱エーテルに溶ける。水にほとんど溶けない。
<i>n</i> -オクタノール／水分配係数log Po/w	: データなし
自然発火温度	: データなし
分解温度	: データなし
1 0 安定性及び反応性	
化学的安定性	: 適切な保管条件下では安定。
危険有害反応可能性	: データなし。
避けるべき条件	: 高温、直射日光
混触危険物質	: 強酸化剤
危険有害な分解生成物	: CO、CO ₂
1 1 有害性情報	
急性毒性	: データなし
皮膚腐食性及び皮膚刺激性	: データなし
眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性	: データなし
感作性	: データなし
生殖細胞変異原性	: データなし
発がん性	: データなし
生殖毒性	: データなし
特定標的臓器毒性	: データなし
吸引性呼吸器有害性	: データなし
1 2 環境影響情報	
生態毒性	: LC50 : <i>Oryzias latipes</i> 118 mg/L/96hr
残留性/分解性	: データなし
生態蓄積性	: データなし
土壤中の移動性	: データなし
オゾン層への有害性	: 本製品はモントリオール議定書の附属書に列記されていない。
1 3 廃棄上の注意	
残余廃棄物	: 廃棄においては関連法規ならびに地方自治体の条例に従うこと。 都道府県知事の許可を得た専門の廃棄物処理業者に委託処理する。
汚染容器及び包装	: 空容器を廃棄する場合、内容物を完全に除去した後に処分する。
1 4 輸送上の注意	
国連番号	: 非該当
国連分類	: 非該当
海洋汚染物質	: 非該当
注意事項	: 輸送前に容器の破損、腐食、漏れ等がないこと確認する。 転倒、落下、損傷がないように積み込み、荷くずれの防止を確実にを行う。
1 5 適用法令	
毒物及び劇物取締法	: 非該当
労働安全衛生法	: 非該当
化学物質排出把握管理促進法	: 非該当
化審法	: 既存物質
消防法	: 第9条の4 政令別表第4 指定可燃物 可燃性固体類
船舶安全法(危規則)	: 非該当
航空法	: 非該当
海洋汚染防止法	: 施行令別表第1 有害物質 Y類物質 No.178
水質汚濁防止法	: 非該当
大気汚染防止法	: 非該当

1.6 その他の情報

引用文献等

化学品安全管理データブック、化学工業日報社

独立行政法人 製品評価技術基盤機構 化学物質総合情報提供システム(CHRIP)

航空危険物規則書 第52版邦訳

16514の化学商品 化学工業日報社(2014) 他

記載内容の取扱い

全ての資料や文献を調査したわけではないため情報漏れがあるかもしれません。また、新しい知見の発表や従来の説の訂正により内容に変更が生じます。重要な決定等にご利用される場合は、出典等をよく検討されるか、試験によって確かめられることをお勧めします。なお、含有量、物理化学的性質等の数値は保証値ではありません。また、注意事項は、通常的な取扱いを対象としたものなので、特殊な取扱いの場合には、この点にご配慮をお願い致します。

安全データシート

作成日 1994年 4月11日

改訂日 2020年 1月14日 1/4頁

SDS No.1021-43160

1 化学品及び会社情報

化学品の名称 : Hexadecanoic acid
提供者名 : ジーエルサイエンス株式会社
住所 : 東京都新宿区西新宿6-22-1 新宿スクエアタワー30F
電話番号 : 03-5323-6611
FAX番号 : 03-5323-6622
製品コード : 1021-43160
緊急連絡先 : ジーエルサイエンス(株)福島工場 品質保証課 電話 024-533-2244(代表)
整理番号(SDS No.) : 1021-43160
推奨用途 : 標準物質(日本産業規格(JIS)Q0030に定めるもの)
使用上の制限 : 試験・研究用

2 危険有害性の要約

GHS分類 : 分類できない
物理的及び化学的危険性 : 通常の手扱いは危険性は低い。
健康に対する有害性 : 経口毒性は低いが大いに摂取すると、有害である。
長期ばく露により、不快感、腹痛、下痢吐き気等の症状が出る恐れがある。
環境への影響 : データなし
その他の情報 : 内容物や容器を廃棄する場合は、都道府県知事の許可を得た専門の廃棄物処理業者に委託すること。

3 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区分 : 化学物質
化学名(又は一般名) : ヘキサデカン酸
別名 : Palmitic acid、パルミチン酸
濃度 : >99%
化学式 : $\text{CH}_3(\text{CH}_2)_{14}\text{COOH}$
分子量 : 256.43
官報公示整理番号 : 2-608
CAS RN : 57-10-3
危険有害成分 : 特になし

4 応急措置

吸入した場合 : 新鮮な空気のある場所に移動し、安静保温に努める。気分が悪い場合は医師の手当てを受けること。
皮膚に付着した場合 : 石鹼と大量の水で洗い流す。刺激が直らない場合、炎症を生じた場合には医師の手当てを受ける。
目に入った場合 : 直ちに、コンタクトレンズを外し、少なくとも15分以上大量の水で眼を洗う。直ちに医師の手当てを受ける。
飲み込んだ場合 : 口をすすぎ、大量の水で薄めて、直ちに医師の手当てを受ける。
無理に吐かせないこと。
暴露した場合 : 医師に連絡すること。汚染された衣類は再使用する場合には洗濯すること。
急性症状及び遅発性症状の最も重要な兆候症状 : データなし
応急措置をする者の保護 : 適切な保護具を着用すること。

5 火災時の措置

消火剤 : 水噴霧、泡消火剤、粉末消火剤
使ってはならない消火剤 : 棒状水
火災時の特有危険有害性 : 火災時に刺激性もしくは有害なヒューム(またはガス)が発生するため、消火の際には煙を吸い込まないように適切な保護具を着用する。
特有の消火方法 : 移動可能な容器は速やかに安全な場所に移す。移動不可能な場合には周辺を水噴霧で冷却する。作業は風上から行い、必ず保護具を着用する。
消火を行う者の保護 : 燃焼又は高温により有害なガスが発生するので、呼吸保護具を着用する。

6 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

: 屋内の場合、処理が終わるまで十分に換気を行う。漏出した場所の周辺に、ロープを張るなどして関係者以外の立ち入りを禁止する。作業の際には適切な保護具を着用し、飛沫等が皮膚に付着したり、粉塵、ガスを吸入しないようにする。風上から作業して、風下の人を退避させる。

環境に対する注意事項

: 漏出した製品が河川等に排出され、環境への影響を起こさないように注意する。汚染された排水が適切に処理されずに環境へ排出しないように注意する。

回収・中和

: 適切な保護具をつけて処理すること。土砂・吸着剤などに吸着させて取り除くか、多量の水を用いて洗い流す。

7 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策

: 屋内作業場における取扱い場所では、局所排気装置を使用する。

安全取扱注意事項

: 容器を転倒させ落下させ衝撃を与え又は引きずる等の粗暴な扱いをしない。漏れ、溢れ、飛散などしないようにし、みだりに粉塵等を発生させない。使用後は容器を密閉する。

衛生対策

: 取扱い後は手、顔等をよく洗い、うがいをする。
指定された場所以外では飲食、喫煙をしてはならない。
休憩場所では手袋その他汚染した保護具を持ち込んではいない。
取扱場所には関係者以外の立ち入りを禁止する。

保管

適切な保管条件

: 容器は遮光し、換気の良いなるべく涼しい場所に密閉して保管する。

避けるべき保管条件

: データなし

技術的対策

: データなし

混触危険物質

: 強酸化剤

安全な容器包装材料

: ガラス

8 ばく露防止措置

設備対策

: 屋内作業場での使用の場合は発生源の密閉化、局所排気装置を設置する。
取り扱い場所の近くに安全シャワー、手洗い・洗眼設備を設け、その位置を明瞭に表示する。

管理濃度 作業環境評価基準 : 設定されていない

許容濃度

日本産業衛生学会 : 設定されていない

ACGIH TLV-TWA : 設定されていない

OSHA PEL-TWA : 設定されていない

保護具

呼吸器の保護具 : 保護マスク

手の保護具 : 保護手袋

目の保護具 : 保護眼鏡

皮膚及び身体の保護具 : 保護衣・保護長靴

9 物理的及び化学的性質

形状 : 微粒～粉末

色 : 白色

臭い : データなし

pH : データなし

融点 : 60～63℃

沸点 : 390℃

引火点 : 182℃

爆発範囲 : データなし

蒸気圧 : データなし

蒸気密度(空気=1) : データなし

比重 : 0.853

溶解性	: ジエチルエーテルに溶けやすくエタノール又はその溶液にはやや溶けやすい。水にはほとんど溶けない。
<i>n</i> -オクタノール／水分配係数log Po/w	: 5.31
自然発火温度	: データなし
分解温度	: データなし
1 0 安定性及び反応性	
化学的安定性	: 適切な保管条件下では安定。
危険有害反応可能性	: データなし。
避けるべき条件	: 高温、直射日光
混触危険物質	: 強酸化剤
危険有害な分解生成物	: CO、CO ₂
1 1 有害性情報	
急性毒性	: データなし
皮膚腐食性及び皮膚刺激性	: データなし
眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性	: データなし
感作性	: データなし
生殖細胞変異原性	: データなし
発がん性	: データなし
生殖毒性	: データなし
特定標的臓器毒性	: データなし
吸引性呼吸器有害性	: データなし
1 2 環境影響情報	
生態毒性	: データなし
残留性/分解性	: データなし
生態蓄積性	: データなし
土壤中の移動性	: データなし
オゾン層への有害性	: 本製品はモントリオール議定書の附属書に列記されていない。
1 3 廃棄上の注意	
残余廃棄物	: 廃棄においては関連法規ならびに地方自治体の条例に従うこと。都道府県知事の許可を得た専門の廃棄物処理業者に委託処理する。
汚染容器及び包装	: 空容器を廃棄する場合、内容物を完全に除去した後に処分する。
1 4 輸送上の注意	
国連番号	: 非該当
国連分類	: 非該当
海洋汚染物質	: 非該当
注意事項	: 輸送前に容器の破損、腐食、漏れ等がないこと確認する。転倒、落下、損傷がないように積み込み、荷くずれの防止を確実に行う。
1 5 適用法令	
毒物及び劇物取締法	: 非該当
労働安全衛生法	: 非該当
化管法	: 非該当
化審法	: 既存物質
消防法	: 第9条の4 政令別表第4 指定可燃物 可燃性固体類
船舶安全法(危規則)	: 非該当
航空法	: 非該当
海洋汚染防止法	: 施行令別表第1 有害液体物質 Y類物質 No.178
水質汚濁防止法	: 非該当
大気汚染防止法	: 非該当

1.6 その他の情報

引用文献等

化学品安全管理データブック、化学工業日報社

独立行政法人 製品評価技術基盤機構 化学物質総合情報提供システム(CHRIP)

航空危険物規則書 第52版邦訳

16514の化学商品 化学工業日報社(2014) 他

記載内容の取扱い

全ての資料や文献を調査したわけではないため情報漏れがあるかもしれません。また、新しい知見の発表や従来の説の訂正により内容に変更が生じます。重要な決定等にご利用される場合は、出典等をよく検討されるか、試験によって確かめられることをお勧めします。なお、含有量、物理化学的性質等の数値は保証値ではありません。また、注意事項は、通常的な取扱いを対象としたものなので、特殊な取扱いの場合には、この点にご配慮をお願い致します。

安全データシート

作成日 1994年 4月12日

改訂日 2020年 1月14日 1/4頁

SDS No.1021-43180

1 化学品及び会社情報

化学品の名称 : Octadecanoic acid
提供者名 : ジーエルサイエンス株式会社
住所 : 東京都新宿区西新宿6-22-1 新宿スクエアタワー30F
電話番号 : 03-5323-6611
FAX番号 : 03-5323-6622
製品コード : 1021-43180
緊急連絡先 : ジーエルサイエンス(株)福島工場 品質保証課 電話 024-533-2244(代表)
整理番号(SDS No.) : 1021-43180
推奨用途 : 標準物質(日本産業規格(JIS)Q0030に定めるもの)
使用上の制限 : 試験・研究用

2 危険有害性の要約

GHS分類 : 分類できない
物理的及び化学的危険性 : 通常の手扱いは危険性は低い。
健康に対する有害性 : 経口毒性は低いが大いに摂取すると、有害である。
長期ばく露により、不快感、腹痛、下痢吐き気等の症状が出る恐れがある。
環境への影響 : データなし
その他の情報 : 内容物や容器を廃棄する場合は、都道府県知事の許可を得た専門の廃棄物処理業者に委託すること。

3 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区分 : 化学物質
化学名(又は一般名) : オクタデカン酸
別名 : Stearic Acid、ステアリン酸
濃度 : >99%
化学式 : $\text{CH}_3(\text{CH}_2)_{16}\text{COOH}$
分子量 : 284.48
官報公示整理番号 : 2-608
CAS RN : 57-11-4
危険有害成分 : 特になし

4 応急措置

吸入した場合 : 新鮮な空気のある場所に移動し、安静保温に努める。気分が悪い場合は医師の手当てを受けること。
皮膚に付着した場合 : 石鹼と大量の水で洗い流す。刺激が直らない場合、炎症を生じた場合には医師の手当てを受ける。
目に入った場合 : 直ちに、コンタクトレンズを外し、少なくとも15分以上大量の水で眼を洗う。直ちに医師の手当てを受ける。
飲み込んだ場合 : 口をすすぎ、大量の水で薄めて、直ちに医師の手当てを受ける。
無理に吐かせないこと。
暴露した場合 : 医師に連絡すること。汚染された衣類は再使用する場合には洗濯すること。
急性症状及び遅発性症状の最も重要な兆候症状 : データなし
応急措置をする者の保護 : 適切な保護具を着用すること。

5 火災時の措置

消火剤 : 水噴霧、泡消火剤、粉末消火剤
使ってはならない消火剤 : 棒状水
火災時の特有危険有害性 : 火災時に刺激性もしくは有害なヒューム(またはガス)が発生するため、消火の際には煙を吸い込まないように適切な保護具を着用する。
特有の消火方法 : 移動可能な容器は速やかに安全な場所に移す。移動不可能な場合には周辺を水噴霧で冷却する。作業は風上から行い、必ず保護具を着用する。
消火を行う者の保護 : 燃焼又は高温により有害なガスが発生するので、呼吸保護具を着用する。

6 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

: 屋内の場合、処理が終わるまで十分に換気を行う。漏出した場所の周辺に、ロープを張るなどして関係者以外の立ち入りを禁止する。作業の際には適切な保護具を着用し、飛沫等が皮膚に付着したり、粉塵、ガスを吸入しないようにする。風上から作業して、風下の人を退避させる。

環境に対する注意事項

: 漏出した製品が河川等に排出され、環境への影響を起こさないように注意する。汚染された排水が適切に処理されずに環境へ排出しないように注意する。

回収・中和

: 適切な保護具をつけて処理すること。土砂・吸着剤などに吸着させて取り除くか、多量の水を用いて洗い流す。

7 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策

: 屋内作業場における取扱い場所では、局所排気装置を使用する。

安全取扱注意事項

: 容器を転倒させ落下させ衝撃を与え又は引きずる等の粗暴な扱いをしない。漏れ、溢れ、飛散などしないようにし、みだりに粉塵等を発生させない。使用後は容器を密閉する。

衛生対策

: 取扱い後は手、顔等をよく洗い、うがいをする。
指定された場所以外では飲食、喫煙をしてはならない。
休憩場所では手袋その他汚染した保護具を持ち込んではいない。
取扱場所には関係者以外の立ち入りを禁止する。

保管

適切な保管条件

: 容器は遮光し、換気の良いなるべく涼しい場所に密閉して保管する。

避けるべき保管条件

: データなし

技術的対策

: データなし

混触危険物質

: 強酸化剤

安全な容器包装材料

: ガラス

8 ばく露防止措置

設備対策

: 屋内作業場での使用の場合は発生源の密閉化、局所排気装置を設置する。
取り扱い場所の近くに安全シャワー、手洗い・洗眼設備を設け、その位置を明瞭に表示する。

管理濃度 作業環境評価基準 : 設定されていない

許容濃度

日本産業衛生学会 : 設定されていない

ACGIH TLV-TWA : 10mg/m³

OSHA PEL-TWA : 設定されていない

保護具

呼吸器の保護具 : 保護マスク

手の保護具 : 保護手袋

目の保護具 : 保護眼鏡

皮膚及び身体の保護具 : 保護衣・保護長靴

9 物理的及び化学的性質

形状 : 固体

色 : 白色

臭い : データなし

pH : データなし

融点 : 68~71°C

沸点 : 196°C/385°F

引火点 : データなし

爆発範囲 : データなし

蒸気圧 : データなし

蒸気密度(空気=1) : データなし

比重 : 0.94

溶解性	: 水に不溶。アルコール、エーテル、クロロホルム、ベンゼン、二硫化炭素に溶解。
<i>n</i> -オクタノール／水分配係数log Po/w	: データなし
自然発火温度	: 395°C
分解温度	: データなし
1 0 安定性及び反応性	
化学的安定性	: 適切な保管条件下では安定。
危険有害反応可能性	: 加熱すると分解して炭素酸化物を生成する。
避けるべき条件	: 高温、直射日光
混触危険物質	: 酸、塩基、酸化剤、還元剤
危険有害な分解生成物	: CO、CO ₂
1 1 有害性情報	
急性毒性	: データなし
皮膚腐食性及び皮膚刺激性	: データなし
眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性	: データなし
生殖細胞変異原性	: データなし
発がん性	: データなし
生殖毒性	: データなし
特定標的臓器毒性	: データなし
1 2 環境影響情報	
生態毒性	: データなし
残留性/分解性	: データなし
生態蓄積性	: データなし
土壤中の移動性	: データなし
オゾン層への有害性	: 本製品はモントリオール議定書の附属書に列記されていない。
1 3 廃棄上の注意	
残余廃棄物	: 廃棄においては関連法規ならびに地方自治体の条例に従うこと。 都道府県知事の許可を得た専門の廃棄物処理業者に委託処理する。
汚染容器及び包装	: 空容器を廃棄する場合、内容物を完全に除去した後に処分する。
1 4 輸送上の注意	
国連番号	: 非該当
国連分類	: 非該当
海洋汚染物質	: 非該当
注意事項	: 輸送前に容器の破損、腐食、漏れ等がないこと確認する。 転倒、落下、損傷がないように積み込み、荷くずれの防止を確実にを行う。
1 5 適用法令	
毒物及び劇物取締法	: 非該当
労働安全衛生法	: 非該当
化管法	: 非該当
化審法	: 既存物質
消防法	: 第9条の4 政令別表第4 指定可燃物 可燃性固体類
船舶安全法(危規則)	: 非該当
航空法	: 非該当
海洋汚染防止法	: 施行令別表第1 有害液体物質 Y類物質 No.178
水質汚濁防止法	: 非該当
大気汚染防止法	: 非該当

1.6 その他の情報

引用文献等

化学品安全管理データブック、化学工業日報社

独立行政法人 製品評価技術基盤機構 化学物質総合情報提供システム(CHRIP)

航空危険物規則書 第52版邦訳

16514の化学商品 化学工業日報社(2014) 他

記載内容の取扱い

全ての資料や文献を調査したわけではないため情報漏れがあるかもしれません。また、新しい知見の発表や従来の説の訂正により内容に変更が生じます。重要な決定等にご利用される場合は、出典等をよく検討されるか、試験によって確かめられることをお勧めします。なお、含有量、物理化学的性質等の数値は保証値ではありません。また、注意事項は、通常的な取扱いを対象としたものなので、特殊な取扱いの場合には、この点にご配慮をお願い致します。

安全データシート

作成日 1994年 4月12日

改訂日 2020年 1月15日 1/4頁

SDS No.1021-43200

1 化学品及び会社情報

化学品の名称 : Eicosanoic acid
提供者名 : ジーエルサイエンス株式会社
住所 : 東京都新宿区西新宿6-22-1 新宿スクエアタワー30F
電話番号 : 03-5323-6611
FAX番号 : 03-5323-6622
製品コード : 1021-43200
緊急連絡先 : ジーエルサイエンス(株)福島工場 品質保証課 電話 024-533-2244(代表)
整理番号(SDS No.) : 1021-43200
推奨用途 : 標準物質(日本産業規格(JIS)Q0030に定めるもの)
使用上の制限 : 試験・研究用

2 危険有害性の要約

GHS分類 : 分類できない
物理的及び化学的危険性 : 通常の手扱いは危険性は低い。
健康に対する有害性 : 経口毒性は低いが大いに摂取すると、有害である。
長期ばく露により、不快感、腹痛、下痢吐き気等の症状が出る恐れがある。
環境への影響 : データなし
その他の情報 : 内容物や容器を廃棄する場合は、都道府県知事の許可を得た専門の廃棄物処理業者に委託すること。

3 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区分 : 化学物質
化学名(又は一般名) : エイコサン酸
別名 : Arachidic Acid、アラキジン酸
濃度 : >99%
化学式 : $\text{CH}_3(\text{CH}_2)_{18}\text{COOH}$
分子量 : 312.53
官報公示整理番号 : 2-608
CAS RN : 506-30-9
危険有害成分 : 特になし

4 応急措置

吸入した場合 : 新鮮な空気のある場所に移動し、安静保温に努める。気分が悪い場合は医師の手当てを受けること。
皮膚に付着した場合 : 石鹼と大量の水で洗い流す。刺激が直らない場合、炎症を生じた場合には医師の手当てを受ける。
目に入った場合 : 直ちに、コンタクトレンズを外し、少なくとも15分以上大量の水で眼を洗う。直ちに医師の手当てを受ける。
飲み込んだ場合 : 口をすすぎ、大量の水で薄めて、直ちに医師の手当てを受ける。
無理に吐かせないこと。
暴露した場合 : 医師に連絡すること。汚染された衣類は再使用する場合には洗濯すること。
急性症状及び遅発性症状の最も重要な兆候症状 : データなし
応急措置をする者の保護 : 適切な保護具を着用すること。

5 火災時の措置

消火剤 : 水噴霧、泡消火剤、粉末消火剤
使ってはならない消火剤 : 棒状水
火災時の特有危険有害性 : 火災時に刺激性もしくは有害なヒューム(またはガス)が発生するため、消火の際には煙を吸い込まないように適切な保護具を着用する。
特有の消火方法 : 移動可能な容器は速やかに安全な場所に移す。移動不可能な場合には周辺を水噴霧で冷却する。作業は風上から行い、必ず保護具を着用する。
消火を行う者の保護 : 燃焼又は高温により有害なガスが発生するので、呼吸保護具を着用する。

6 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

: 屋内の場合、処理が終わるまで十分に換気を行う。漏出した場所の周辺に、ロープを張るなどして関係者以外の立ち入りを禁止する。作業の際には適切な保護具を着用し、飛沫等が皮膚に付着したり、粉塵、ガスを吸入しないようにする。風上から作業して、風下の人を退避させる。

環境に対する注意事項

: 漏出した製品が河川等に排出され、環境への影響を起こさないように注意する。汚染された排水が適切に処理されずに環境へ排出しないように注意する。

回収・中和

: 適切な保護具をつけて処理すること。土砂・吸着剤などに吸着させて取り除くか、多量の水を用いて洗い流す。

7 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策

: 屋内作業場における取扱い場所では、局所排気装置を使用する。

安全取扱注意事項

: 容器を転倒させ落下させ衝撃を与え又は引きずる等の粗暴な扱いをしない。漏れ、溢れ、飛散などしないようにし、みだりに粉塵等を発生させない。使用後は容器を密閉する。

衛生対策

: 取扱い後は手、顔等をよく洗い、うがいをする。
指定された場所以外では飲食、喫煙をしてはならない。
休憩場所では手袋その他汚染した保護具を持ち込んではいない。
取扱場所には関係者以外の立ち入りを禁止する。

保管

適切な保管条件

: 容器は遮光し、換気の良いなるべく涼しい場所に密閉して保管する。

避けるべき保管条件

: データなし

技術的対策

: データなし

混触危険物質

: 強酸化剤

安全な容器包装材料

: ガラス

8 ばく露防止措置

設備対策

: 屋内作業場での使用の場合は発生源の密閉化、局所排気装置を設置する。
取り扱い場所の近くに安全シャワー、手洗い・洗眼設備を設け、その位置を明瞭に表示する。

管理濃度 作業環境評価基準 : 設定されていない

許容濃度

日本産業衛生学会 : 設定されていない

ACGIH TLV-TWA : 設定されていない

OSHA PEL-TWA : 設定されていない

保護具

呼吸器の保護具 : 保護マスク

手の保護具 : 保護手袋

目の保護具 : 保護眼鏡

皮膚及び身体の保護具 : 保護衣・保護長靴

9 物理的及び化学的性質

形状 : 結晶～結晶性粉末

色 : 白色

臭い : データなし

pH : データなし

融点 : 74～78℃

沸点 : 203～205℃(1.3hPa)

引火点 : データなし

爆発範囲 : データなし

蒸気圧 : データなし

蒸気密度(空気=1) : データなし

比重 : データなし

溶解性	: 水に不溶、エタノール、アセトンに溶けにくく、ジエチルエーテルに溶けやすい。
<i>n</i> -オクタノール／水分配係数log Po/w	: データなし
自然発火温度	: データなし
分解温度	: データなし
1 0 安定性及び反応性	
化学的安定性	: 適切な保管条件下では安定。
危険有害反応可能性	: データなし。
避けるべき条件	: 高温、直射日光
混触危険物質	: 強酸化剤
危険有害な分解生成物	: CO、CO ₂
1 1 有害性情報	
急性毒性	: データなし
皮膚腐食性及び皮膚刺激性	: データなし
眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性	: データなし
感作性	: データなし
生殖細胞変異原性	: データなし
発がん性	: データなし
生殖毒性	: データなし
特定標的臓器毒性	: データなし
吸引性呼吸器有害性	: データなし
1 2 環境影響情報	
生態毒性	: データなし
残留性/分解性	: データなし
生態蓄積性	: データなし
土壤中の移動性	: データなし
オゾン層への有害性	: 本製品はモントリオール議定書の附属書に列記されていない。
1 3 廃棄上の注意	
残余廃棄物	: 廃棄においては関連法規ならびに地方自治体の条例に従うこと。 都道府県知事の許可を得た専門の廃棄物処理業者に委託処理する。
汚染容器及び包装	: 空容器を廃棄する場合、内容物を完全に除去した後に処分する。
1 4 輸送上の注意	
国連番号	: 非該当
国連分類	: 非該当
海洋汚染物質	: 非該当
注意事項	: 輸送前に容器の破損、腐食、漏れ等がないこと確認する。 転倒、落下、損傷がないように積み込み、荷くずれの防止を確実にを行う。
1 5 適用法令	
毒物及び劇物取締法	: 非該当
労働安全衛生法	: 非該当
化管法	: 非該当
化審法	: 非該当
消防法	: 第9条の4 政令別表第4 指定可燃物 可燃性固体
船舶安全法(危規則)	: 非該当
航空法	: 非該当
海洋汚染防止法	: 施行令別表第1 有害物質 Y類物質 No.178
水質汚濁防止法	: 非該当
大気汚染防止法	: 非該当

1.6 その他の情報

引用文献等

化学品安全管理データブック、化学工業日報社

独立行政法人 製品評価技術基盤機構 化学物質総合情報提供システム(CHRIP)

航空危険物規則書 第52版邦訳

16514の化学商品 化学工業日報社(2014) 他

記載内容の取扱い

全ての資料や文献を調査したわけではないため情報漏れがあるかもしれません。また、新しい知見の発表や従来の説の訂正により内容に変更が生じます。重要な決定等にご利用される場合は、出典等をよく検討されるか、試験によって確かめられることをお勧めします。なお、含有量、物理化学的性質等の数値は保証値ではありません。また、注意事項は、通常的な取扱いを対象としたものなので、特殊な取扱いの場合には、この点にご配慮をお願い致します。

安全データシート

作成日 1994年 4月12日

改訂日 2020年 1月15日 1/4頁

SDS No.1021-43220

1 化学品及び会社情報

化学品の名称	: Docosanoic acid
提供者名	: ジーエルサイエンス株式会社
住所	: 東京都新宿区西新宿6-22-1 新宿スクエアタワー30F
電話番号	: 03-5323-6611
FAX番号	: 03-5323-6622
製品コード	: 1021-43220
緊急連絡先	: ジーエルサイエンス(株)福島工場 品質保証課 電話 024-533-2244(代表)
整理番号(SDS No.)	: 1021-43220
推奨用途	: 標準物質(日本産業規格(JIS)Q0030に定めるもの)
使用上の制限	: 試験・研究用

2 危険有害性の要約

GHS分類	: 分類できない
物理的及び化学的危険性	: 通常の手扱いは危険性は低い。
健康に対する有害性	: 経口毒性は低いが大いに摂取すると、有害である。 長期ばく露により、不快感、腹痛、下痢吐き気等の症状が出る恐れがある。
環境への影響	: データなし
その他の情報	: 内容物や容器を廃棄する場合は、都道府県知事の許可を得た専門の廃棄物処理業者に委託すること。

3 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区分	: 化学物質
化学名(又は一般名)	: ドコサン酸
別名	: Behenic Acid、ベヘニン酸
濃度	: >99%
化学式	: CH ₃ (CH ₂) ₂₀ COOH
分子量	: 340.58
官報公示整理番号	: 2-608
CAS RN	: 112-85-6
危険有害成分	: 特になし

4 応急措置

吸入した場合	: 新鮮な空気のある場所に移動し、安静保温に努める。気分が悪い場合は医師の手当てを受けること。
皮膚に付着した場合	: 石鹼と大量の水で洗い流す。刺激が直らない場合、炎症を生じた場合には医師の手当てを受ける。
目に入った場合	: 直ちに、コンタクトレンズを外し、少なくとも15分以上大量の水で眼を洗う。直ちに医師の手当てを受ける。
飲み込んだ場合	: 口をすすぎ、大量の水で薄めて、直ちに医師の手当てを受ける。 無理に吐かせないこと。
暴露した場合	: 医師に連絡すること。汚染された衣類は再使用する場合には洗濯すること。
急性症状及び遅発性症状の最も重要な兆候症状	: データなし
応急措置をする者の保護	: 適切な保護具を着用すること。

5 火災時の措置

消火剤	: 水噴霧、泡消火剤、粉末消火剤
使ってはならない消火剤	: 棒状水
火災時の特有危険有害性	: 火災時に刺激性もしくは有害なヒューム(またはガス)が発生するため、消火の際には煙を吸い込まないように適切な保護具を着用する。
特有の消火方法	: 移動可能な容器は速やかに安全な場所に移す。移動不可能な場合には周辺を水噴霧で冷却する。作業は風上から行い、必ず保護具を着用する。
消火を行う者の保護	: 燃焼又は高温により有害なガスが発生するので、呼吸保護具を着用する。

6 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

: 屋内の場合、処理が終わるまで十分に換気を行う。漏出した場所の周辺に、ロープを張るなどして関係者以外の立ち入りを禁止する。作業の際には適切な保護具を着用し、飛沫等が皮膚に付着したり、粉塵、ガスを吸入しないようにする。風上から作業して、風下の人を退避させる。

環境に対する注意事項

: 漏出した製品が河川等に排出され、環境への影響を起こさないように注意する。汚染された排水が適切に処理されずに環境へ排出しないように注意する。

回収・中和

: 適切な保護具をつけて処理すること。土砂・吸着剤などに吸着させて取り除くか、多量の水を用いて洗い流す。

7 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策

: 屋内作業場における取扱い場所では、局所排気装置を使用する。

安全取扱注意事項

: 容器を転倒させ落下させ衝撃を与え又は引きずる等の粗暴な扱いをしない。漏れ、溢れ、飛散などしないようにし、みだりに粉塵や蒸気を発生させない。使用後は容器を密閉する。

衛生対策

: 取扱い後は手、顔等をよく洗い、うがいをする。
指定された場所以外では飲食、喫煙をしてはならない。
休憩場所では手袋その他汚染した保護具を持ち込んではいない。
取扱場所には関係者以外の立ち入りを禁止する。

保管

適切な保管条件

: 容器は遮光し、換気の良いなるべく涼しい場所に密閉して保管する。

避けるべき保管条件

: 火気の近くでの保管

技術的対策

: 火気に注意

混触危険物質

: 強酸化剤

安全な容器包装材料

: ガラス

8 ばく露防止措置

設備対策

: 屋内作業場での使用の場合は発生源の密閉化、局所排気装置を設置する。
取り扱い場所の近くに安全シャワー、手洗い・洗眼設備を設け、その位置を明瞭に表示する。

管理濃度 作業環境評価基準 : 設定されていない

許容濃度

日本産業衛生学会 : 設定されていない

ACGIH TLV-TWA : 設定されていない

OSHA PEL-TWA : 設定されていない

保護具

呼吸器の保護具 : 保護マスク

手の保護具 : 保護手袋

目の保護具 : 保護眼鏡

皮膚及び身体の保護具 : 保護衣・保護長靴

9 物理的及び化学的性質

形状 : 粒状

色 : 白色～わずかに薄い褐色

臭い : データなし

pH : データなし

融点 : 74～78℃

沸点 : 306℃

引火点 : データなし

爆発範囲 : データなし

蒸気圧 : データなし

蒸気密度(空気=1) : データなし

比重 : 0.8221

溶解性	: 水に不溶。アルコール、エーテル、アセトン等の溶媒に可溶。
n-オクタノール／水分配係数log Po/w	: 9.91
自然発火温度	: データなし
分解温度	: データなし

1 0 安定性及び反応性

化学的安定性	: 適切な保管条件下では安定。
危険有害反応可能性	: データなし。
避けるべき条件	: 高温、直射日光
混触危険物質	: 強酸化剤
危険有害な分解生成物	: CO、CO ₂

1 1 有害性情報

急性毒性	: データなし
皮膚腐食性及び皮膚刺激性	: データなし
眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性	: データなし
感作性	: データなし
生殖細胞変異原性	: データなし
発がん性	: データなし
生殖毒性	: データなし
特定標的臓器毒性	: データなし
吸引性呼吸器有害性	: データなし

1 2 環境影響情報

生態毒性	: データなし
残留性/分解性	: データなし
生態蓄積性	: データなし
土壤中の移動性	: データなし
オゾン層への有害性	: 本製品はモントリオール議定書の附属書に列記されていない。

1 3 廃棄上の注意

残余廃棄物	: 廃棄においては関連法規ならびに地方自治体の条例に従うこと。 都道府県知事の許可を得た専門の廃棄物処理業者に委託処理する。
汚染容器及び包装	: 空容器を廃棄する場合、内容物を完全に除去した後に処分する。

1 4 輸送上の注意

国連番号	: 非該当
国連分類	: 非該当
海洋汚染物質	: 非該当
注意事項	: 輸送前に容器の破損、腐食、漏れ等がないこと確認する。 転倒、落下、損傷がないように積み込み、荷くずれの防止を確実にを行う。

1 5 適用法令

毒物及び劇物取締法	: 非該当
労働安全衛生法	: 非該当
化学物質排出把握管理促進法	: 非該当
化審法	: 非該当
消防法	: 第9条の4 政令別表第4 指定可燃物 可燃性固体類
船舶安全法(危規則)	: 非該当
航空法	: 非該当
海洋汚染防止法	: 施行令別表第1 有害液体物質 Y類物質 No.178
水質汚濁防止法	: 非該当
大気汚染防止法	: 非該当

1.6 その他の情報

引用文献等

化学品安全管理データブック、化学工業日報社

独立行政法人 製品評価技術基盤機構 化学物質総合情報提供システム(CHRIP)

航空危険物規則書 第52版邦訳

16514の化学商品 化学工業日報社(2014) 他

記載内容の取扱い

全ての資料や文献を調査したわけではないため情報漏れがあるかもしれません。また、新しい知見の発表や従来の説の訂正により内容に変更が生じます。重要な決定等にご利用される場合は、出典等をよく検討されるか、試験によって確かめられることをお勧めします。なお、含有量、物理化学的性質等の数値は保証値ではありません。また、注意事項は、通常的な取扱いを対象としたものなので、特殊な取扱いの場合には、この点にご配慮をお願い致します。